



地域小規模児童養護施設「つむぎ」8月開設!



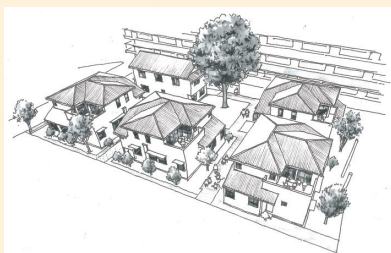
完成間近の「聖三一教会」と「つむぎ」

「新しい社会的養育ビジョン」に則り全国的に児童養護施設は小規模化を図っています。児童養護施設博愛社では既に地域小規模児童養護施設「くるみ」「楓」「日向」が淀川区内で展開されています。8月に開設予定の地域小規模児童養護施設「つむぎ」はこれまで住み慣れた淀川区を離れ東住吉区での開設となります。本体施設から距離があり新たな環境で子どもたちと共に地域の方々に協力を得ながら博愛社の理念のもと運営します。応援をよろしくお願いいたします。【西川 篤志】

児童養護施設（仮称） 第二博愛社開設に向けて

当初、2022年夏に開設を目指していた「児童養護施設（仮称）第二博愛社」の建設工事が3月に始まりました。定員24名で、一戸建てのホームが4棟と事務所棟の計5棟が建ち、2023年春の開設に向け準備を進めています

【梶川 靖夫】



イメージ図

開設から11年、子どもたちの成長を見守ってきた「家」も老朽化が進み、大阪市の改修補助金に加え、(株)ダイヘン様より頂いた寄付金を使って内外装のフルリフォームをして新しく生まれ変わりました。子どもたちも自室の壁紙を選び、ドアを開ける度にそれぞれのカラーを感じられる家となりました。これからも大切に受け継いでいきたいと思えます。様々な形で支援して頂き、ありがとうございます

【中矢 可奈子】

地域小規模児童養護施設 「くるみ」改修



外壁や屋根もリフォーム



フローリングやキッチンをリフォーム

四季
折々

～ 4歳の壁～

皆さんは「4歳の壁」という言葉をご存知でしょうか？「4歳の壁」とは、だいたい4歳前後になるとよく見られる反抗期の時期を指すそうで特徴は、今までしていたことをしなくなる、乱暴になる、嘘をつく、思い通りにならないと拗ねる、癩癩をおこすなどがあります。我が家の4歳になったばかりの長男がこの「4歳の壁」の真っ最中で家族をだれかれ構わずに叩き、叱ると「もう知らん」とすねたり、気に入らないことがあると家の中でも道端でもかまわず泣き叫んだり、今までできていたことも「できないから、やって」と自分ではやらなくなったりしてしまいました。はじめは頭ごなしに叱ってばかりでしたが、これは成長過程で心が不安定になっているからと知ってからはできるだけこどもの気持ちに寄り添って接するようになりました。今でもこどもの行動は変わっていませんが自分の気持ちにゆとりができ以前より冷静に対応できるようになりました。誰と接する時も寄り添う気持ちを忘れず何事にも冷静に対応できるようになりたいです。

【ケアプランセンターはくあい 谷本 潔俊】

次の10年に向けて

【はくあい介護サポートセンター】

はくあい介護サポートセンターは介護保険がスタートした2000年に高齢事業の在宅部門として開設され、地域のみならずさまに寄り添い続け、はや22年の歳月が流れました。20周年を迎えた記念として15年以上着続しているスタッフジャンパーを一新しようと、小野所長が企画してくれました。コロナ禍で制作が延期となっていました。この度ようやく完成しましたが、長年連れ添ってきた色褪せた相

棒のジャンパーに感謝し、届いた新しい上着に袖を通して「はくあい介護サポートセンター」の真っ白なロゴを見ると入職当時から「頼りになるはくあい」の思いが伝わります。この10年に向けて、基本方針を軸とし、これからも地域の方から「頼りになるはくあい」の思いが伝わります。



新しいスタッフジャンパー

くあい」と思っていただけるよううにサポートセンター職員一同、誠心誠意を尽くして参ります。

【湯原 孝子】

博愛社 春の人事 (2022年4月)

◆入社◆

【児童養護施設】 エスカランテ 博美、総谷 千尋、神崎 美咲、黒川 いつき、大門 恵奈、宮崎 菜々加(以上保育士)、笹倉 君代、富川 秀真(以上児童指導員)

【児童デイサービスわくわく】 古川 達也

【サテライト特養 清心館】 田村 尚生、西村 絵琉奈(以上ケアワーカー)

2021年度(2021年4月~2022年3月)に、皆さまから博愛社へお寄せいただきました。寄付金について感謝のご報告をいたします。

寄付金の総額は1870万余円でした。内訳は一般寄付50万円、後援会270万円、各施設指定寄付1500万円です。

この厳しい環境の中、多くの皆様から大きな心を寄せて戴き、御礼申し上げます。ありがとうございます。

2021年度はコロナの環境も改善が見られず、いつ終息するのかわからない状況です。

更にロシアとウクライナ攻防が長期化し、世界的に重たい空気が心に迫る年でした。

こどもや高齢者が安心して暮らせる日が一日も早く訪れます様祈ります。

基本理念に沿って『優しいこころを大切に』を踏み出そう』をテーマに事業を進めました。

・『明るい笑顔があふれる博愛社、まずはあいさつから』プロジェクトに取り組み。こどもが描いたイラスト入りのポスターを法人内各所に掲げ、挨拶をしようと呼びかける。

『理事長先生おはようございます』と大きな声であいさつすることもたちに励まされました。

・第二博愛社開設に向けて。

保育所跡地に来年4月開所予定で四軒の小規模ホームと事務棟の建築が始まる。近隣の企業ダイヘン様から多額の寄付を戴き、備品の購入に充てる。感謝です。

・病後児保育のこども園への移管、更に病児保育への機能拡大に取り組み。

大阪市のヒアリング等プロポーザル審査

感謝のご報告

2021年度分

を経て採択され、病児・病後児保育室『ペコラ』(こひつじの意)を四月開設。地域貢献事業としてスタートしました。

こども園開設2年目を迎え事業が安定しつつある。一時預かり事業(年間950名)園庭開放事業(年間520名)コロナ蔓延の為に入場制限等で減少)の利用。両事業ともに大変人気があり、申込が殺到する状況。こひつじ乳児保育園の子育て支援が例年より盛況で新入園児への繋がりが期待される地域支援が広がっております。

・大きな一歩。
保育部門において『人事育成評価制度』を導入。職員研修、個人面談を度々重ね、試行期間を経て3月末に21年度の評価を実施。職員育成・スキルアップのため、教職員が人事考課に取り組む努力は大きな一歩でした。

2021年度の博愛社は、下記の決算報告書のとおり、各施設、法人本部とも健全に運営されていることを、感謝をもって報告いたします。

皆さまには、このような博愛社の働きに対し、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、寄付金、寄贈品、後援会費をいただきました方々への感謝の思いを込めて、お名前を次のページ以降に掲載させていただきます。

社会福祉法人 博愛社
理事長 長野 泰信
副会長 豊川 雅章
事務局長 和野 信三

社会福祉法人 博愛社 2021年度(令和3年度) 決算報告書

(単位千円)

1. 資金収支計算書

科目	予算	決算	差異
①事業活動収入	1,738,510	1,762,911	-24,401
②事業活動支出	1,644,690	1,654,834	-10,144
A.事業活動収支差額	93,820	108,077	-14,257
③施設整備等収入	27,950	24,267	3,683
④施設整備等支出	100,960	101,153	-193
B.施設整備収支差額	-73,010	-76,886	3,876
⑤その他活動収入	395,270	398,010	-2,740
⑥その他活動支出	355,630	370,735	-15,105
C.その他活動収支差額	39,640	27,275	12,365
D.当期資金収支差額	60,450	58,465	1,985
E.当期末支払資金残高	609,913	607,929	1,984

※寄付金収入 18,707

2. 事業活動収支計算書

科目	当年度	前年度	増減
①サービス活動収益	1,734,685	1,728,105	6,580
②サービス活動費用	1,713,212	1,672,853	40,359
③サービス活動外収益	28,225	29,021	-796
④サービス活動外費用	18,603	19,511	-908
A.経常増減差額	31,095	64,762	-33,667
⑤特別収益	337,673	23,519	314,154
⑥特別費用	303,719	25,188	278,531
B.特別増減差額	33,954	-1,669	35,623
C.法人税・事業税等	418	413	5
D.当期活動増減差額	64,631	62,680	1,951
E.次期繰越活動増減差額	1,338,392	1,233,760	104,632

※国庫補助取崩額 50,175 減価償却額 116,721

3. 貸借対照表

借方				貸方			
科目	当期末	前期末	増減	科目	当期末	前期末	増減
①流動資産	713,562	658,556	55,006	④流動負債	117,160	123,883	-6,723
②基本財産	2,525,258	2,604,482	-79,224	⑤固定負債	405,165	416,736	-11,571
③その他固定資産	1,113,718	1,085,018	28,700	⑥基本金等	2,491,821	2,573,677	-81,856
				⑦次期繰越収支差額	1,338,392	1,233,760	104,632
A.資産合計	4,352,538	4,348,056	4,482	B.負債・純資産合計	4,352,538	4,348,056	4,482

※国庫補助金積立残高 1,124,561 積立金額 8,320

ご芳名

社会福祉法人博愛社への寄付および
物品寄贈者 2021年度分(敬称略)

【寄付金】

愛輝幼稚園、赤井三栄子、明坂多希子、浅井健吉、芦屋聖マルコ教会、麻生多加江、足立勉(株)anagram浜辺竜也、荒瀬八良、有澤利枝、碓英一、伊崎淑子、市川聖マリヤ幼稚園、井上薫、岩田幼稚園、宇田玲佳、内宮隆夫、宇野喜句子、大阪北ライオンズクラブ、大阪教区婦人会、大阪教区連合男子会、大阪キリスト教短期大学、大阪聖愛教会、大阪聖アンデレ教会、大阪聖パウロ教会婦人会、大阪府遊技業協同組合青年部会、大橋武郎、小椋圭一郎、尾崎電気工事(株)尾崎豊美、小野真友美、梶山孝雄、片山弘文、金宮龍也、上岡良行、川口基督教会婦人会、川田誠、川村輝夫・昌子、関西学院宗教活動委員会、岐邨章子、

草ヶ江幼稚園、釘崎克己、神戸昇天教会、小林凌子、齊藤壹、坂本かずる、作典子、佐野信三、篠塚茂子、鈴木敏雄、聖贖主教会婦人会、聖バルナバ病院、聖ミカエル幼稚園、瀬川優子、側垣二也、大國榮一、ダイナミックオーナーズ会、(株)ダイヘン代表取締役社長田尻哲也、高松聖ヤコブ幼稚園、拓洋、田中廉、(株)タモツコーポレーション代表取締役社長新保貴史、辻毅一郎、出上俊一、豊田医院豊田紘生、中島和子、永谷ヒロ子、長野加代子、長野泰信、成田吉哉、西岡浩二、西宮聖ペテロ教会、西本行伸、日本キリスト教団天満教会あしなが会、日本システム技術(株)有志一同、野上千春、野知卓司、畑野研太郎、初雁幼稚園園児・教職員一同、早川俊・文子、早川育子、林光行、樋口敏雄、ヒルトン

【物品】

大阪、プール学院中学校・高等学校、朴木清重、(有)フリーマーケット123社員一同、松原泉水、(株)万代、三島キヨコ、水野富士夫、三井八重子、宮嶋公恵、(株)ミヤワキ、守口聖オーガステイン教会、山田洋子、幼保連携型認定こども園聖十字幼稚園、吉田忠司、良善幼稚園理事長埜田光俊、立教女子学院小学校、ロックペイント(株)、和多田祐、和田多喜子、匿名

(株)アイセイ、(株)アシックス、足立勉、(株)アド近鉄取締役社長杉本昌弘、阿部勝造、新井広子、アリシア・マリ・スパノン、石原弘子、井上薫、上田明代、宇田玲佳、宇高正恵、(株)ウマエモン、NPO法人エスペランサ、NTTファイナンス(株)関西総合料金センター料金企画部、(株)MGC代表取締役松田清治、大阪菓業青年クラブ理事長谷川陽一、大阪ガス(株)、大阪堂島ロータリークラブ会長切原毅、大阪府社会福祉協議会、大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会理事長熊本和浩、大阪府遊技業協同組合青年部会、大阪本場青果卸売協同組合、大阪南ロータリークラブ会長木村芳樹、大阪淀川ロータリークラブ、大盛玄、大盛由貴、大矢知善興、(株)オリオン、(株)ガイア庄内店、(株)ガイア吹田店、(株)ガイア東三国店、(株)カリス会長嶋崎忍、協同食品(株)、清田喜美江、近畿アイスクリーム協会、KING松本(株)、熊本県経済農業協同組合連合会代表理事会長丁道夫、倉敷紡績(株)、グリコマニユファクチャリングジャパン(株)大阪工場、GENIAL(株)栗山晃次、厚生労働省、コストコホールセールジャパン(株)尼崎倉庫店、小竹代里子、こどものための博物館キッズプラザ大阪、小西麗子、(株)コロンバン大阪営業部支店長和田正人、さくらタクシー(株)、佐伯直輝、(株)三和プランニング、(公社)JEO代表理事辻正夫、塩月智、塩月麻貴、(株)シリウス、ジホー愛の基金、絆、村上マルエ、末武健一、杉井和子、杉浦清子、鈴木敏雄、全国シヤンメリー協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部県本部長関岡光昭、双基(株)、雑巾を縫う会、(株)ダイヘン総務・法務部長高野哲也、(株)タモツコーポレーション代表取締役社長新保貴史、Tadji Kitchen 平島智子、タリーズコーヒージャパン(株)マーケティング本部、(株)タンバヤ、チャッカリー平澤まこ、

(株)チュチュアンナ代表取締役上田利昭、特定非営利活動法人てんやく絵本ふれあい文庫、堂島アバンザ管理(株)、ドミノピザ新大阪店、中田尚子、(株)三三三、日本鏡餅組合理事長樋口元剛、(公社)日本缶詰びん詰レトルト食品協会、日本システム技術(株)、(公社)日本プロサッカーリーグ直轄室統括本部社会連携室、日本レッグニット卸商協同組合理事長金村雄仁、(株)ネオグラフィック、根来一美、(株)乃が美ホールディングス阪上雄司、(株)HYTI小鯛竜也、(株)ピイティエス米盛彰、(株)ファーストリテイリングサステナビリティー部、(株)ファミリーマート、(株)プールミッシュ、(一社)国連PRIDE日本理事長奥田正明、(株)フレール館、プロシオンの会、前澤友作、(株)MASHU代表取締役増成進、前田昭代、(株)万代、松野勝枝、松尾由希子、(株)三木組代表取締役社長三木康資、南口宣広、水山武博、向順子、村館忍、(株)ラグザス・クリエイト代表取締役社長福重生次郎、(株)フミコーポレーション、山口文子、山田善一、淀川区社会福祉協議会、横内三映子、ワールドメイト大きなおはぎをあなたにどうぞ支部、匿名

博愛社後援会「芳名」敬称略

(2021年4月～2022年3月)

- 【宮城県】 足利静恵、木川田 深谷憲司、藤倉寿美子
雁子、元村智明
- 【茨城県】 垣内利仁
- 【埼玉県】 松山聖ルカ幼稚園
【千葉県】 高田眞理子、橋本 安富
- 【東京都】 淡路有希子、武田 邦隆、田坂知加子、土肥努、 中村玲子、馬場千代子、立教 女学院小学校、和氣政広
- 【神奈川県】 伊藤英子、古谷 美子、竹中眞美子
- 【石川県】 北川茂樹、側垣二 也
- 【滋賀県】 遠藤小百合、畠中 彬、村岡俊太郎、吉川浩也
- 【京都府】 井岡勉、石井久恵 香、北村敏博、竹林徑一、竹 林敏子、中野稜介、長谷川勝 彦、平井長和、平井千賀子、
- 【大阪府】 (株)アイメニユ、 (株)アエル、青木和美、青木沙 矢、青柳梓、赤松佳香、浅井 心哉、浅井靖久、浅田香里、 朝日麻衣、あすなろの家、安 宅貴世子、油谷咲杏、荒井祐 子、荒川俊子、井内益美、井 口梨菜、池本信昭、石田晴子、 いざなみ監査法人、石田美郎、 石伏保子、石本栄博、伊勢田 健、磯悦子、市原健藏、市原 俊雄、伊藤範子、伊藤陽子、 稲岡里奈、井上裕子、井上明 日香、井ノ本牧子、今井佐紀、 今鷹美由紀、今中愛子、今中 淳一、岩村達弥、植田真也、 上村サト子、内海由利子、宇 野喜句子、宇野徹、宇野豊、 海野晴男、江里口立子、江畑 浩和、圓満涼輔、大久保正彦、 大久保由佳、大阪北部ヤクル ト販売(株)、大城ちづる、太田 久美子、大宅進二、大束理絵、 大西良和、大西由香里、大野 高史、大野千鶴子、大野寿美、 大橋祐紀、大森奈保子、大屋 奈津希、大矢めぐみ、岡亜優 美、尾方由美、岡村圭奈、岡 村悠恵、岡山保美、奥野敏子、 奥山美江子、小椋圭一郎、尾 崎電気工事(株)、尾崎豊美、織 田一容、織田恵子、落美穂、 小沼あずさ、小野真友美、小 野光雄、改田多賀子、梶川靖 夫、梶原忍、勝原沙奈美、勝 原駿、門脇健二、金城泰二、 金田朝、神津地域社会福祉協 議会会長尾崎豊美、上岡良行、 川田誠、河村卓哲、河村秩恵 子、神田浩行、木田紗野花、 喜田眞理子、喜多みゆき、北 野加代子、北原幸子、吉川美 恵子、金瑛美、岐邨章子、木 本有紀子、喜屋武真衣、キン キ寝具(株)、串谷成美、工藤孝 志、久七果央梨、久保恵子、 小出裕司、幸田よし美、河野 光裕、小亀綾香、小林優李、 小原大輔、斎藤泰乃、斎藤純 加、齋藤ゆみ、齋藤裕、酒井 風香、阪上博昭、坂本智映、 坂本あかね、坂本康一朗、崎 間由紀子、桜田梨穂、佐治真 由子、佐野節子、佐原未佳、 猿渡孝示、志尾幸子、志野珠 紀、篠田高陽、柴田真央、下 垣桂二、下林美恵子、新北野 中学校、新保誠敏、菅原奈美、 杉野美保、杉本武、鈴木愛梨、 鈴木久美子、鈴木鈴枝、鈴木 敏雄、鈴木理帆、鈴木礼子、 鈴木洋祐、角静香、大門美貴 子、高島ますみ、高橋明子、 高橋伊代子、高三真維、高谷 鮎美、宅間優希、竹内絢子、 武富さくら、竹林由香里、竹 本有希子、田島壯士、多島洋 介、橘尚子、龍野桂子、巽悠 里、立川武生、建部茂、谷上 瑠洋、谷本奈緒美、谷本潔俊、 田林敬子、田村優江、田村隆 一郎、田村桂実、近村有紀、 チャンティベート、辻哲平、 辻野由美、土永詩月、筒井か おり、恒崎航、津野紀代志、 税理士法人津野・倉本会計事 務所、出上俊一、手島百合子、 鉄谷淳二、寺田史穂菜、土居 ひまわり保育園、朽尾慎一、 友井秀一、豊川雅章、豊田医 院豊田紘生、虎若千浩、鳥山 久美子、中井菜摘、長井英昭、 中川忠、中芝正美、中島実沙、 中嶋朋美、中島緑、永田可菜、 永谷フジエ、中務隼、中辻菓 子店、中辻亜紀、中野晶子、 中野香津子、中野泰三、中峯 桃子、中村忠雄、中村昭代、 中村と志、中村未来、中本瞳、 中矢可奈子、鍋谷真澄、奈良 文、二川幸子、二川雄太、西 川篤志、西川香奈、西川照代、 西川博子、西川眞砂子、西川 優里、西田はな、西川幸宏、 西田ヨシ子、西村三千代、西 本行伸、仁田忍、野上千春、 野口恵、野里雄二、野沢慶仁、 野田遥佳、野知卓司、橋本明 子、萩原昭子、箱崎真子、秦 香、畑寿一郎、花田征美、花 原飛鳥、幅田稚菜、濱田一輝、 早川育子、早川俊、早川文子、 林眞澄、林園佳苗、早瀬佳美、

原寛、原田あかね、姫井昭男、吉松政子、吉本教郎、淀川遊福井優記、藤瀬愛、藤田由美子、藤永真澄、藤野寛暁、藤村真美華、藤原真理、藤原結花、文野陽子、北摂環境サービス(株)、堀内信男、前杉康子、前田孝一、前田禎之、前中陽子、榎野明美、増田愛子、松浦真孝、松川恭子、松川小夜子、松永英子、松永美幸、松原裕也、松村唯、松本桃花、三木康資、水嶋保、水野富士夫、南和代、三船麻美亜、宮原鈴佳、向順子、宗像千代子、宗藤早矢、村上トヨミ、村川麗奈、(株)メリコ、元持千穂、森ちか、森初音、森中央、森田いづみ、森本朋子、森本晴夫、安田唯、柳川小々桜、柳沢佐和子、矢野沙緒里、山内紘子、山上和則、山口あつ子、山口玲生、山五(株)、山下君子、山田英美、山田陸子、山田洋子、山中聡、山村彩夏、山本和人、山本妙子、山本久江、山本智英、湯原孝子、芳岡節子、吉岡穂香、吉澤知子、吉田圭子、吉田史子、吉田幸祐、吉松政子、吉本教郎、淀川遊技業組合山本一博、米倉充音、脇麻里奈、和田聡美、和田雅夫、和多田友子、和多田祐

【兵庫県】 青木正博、赤山英雄、揚野大五郎、イースター式典社、泉迪子、井上輝久、今西時子、今西信之、上野貴一、大谷未来、大西博孝、大野和哥子、大本千尋、小川英晃、奥谷幸子、勝田亨、金森雪絵、榊山真己子、北村寿章、楠部欣哉、(学)神戸女学院、後藤真希、木場加苗、近藤彩理佳、桜井揚子、佐藤耕一、佐藤正子、佐野信三、佐野弘子、清水千鶴代、(学)松蔭女子学院、東海林恭子、杉山克枝、瀬戸謙二、瀬戸義子、(株)多い夢、竹下恵、棚橋次美、谷政敏、辻毅一郎、中井朋子、中野優、長野加代子、長野泰信、中原マサ子、中村大蔵、成田弘子、成田吉哉、西岡浩二、西垣晃一、錦織久、西台宏、丹羽昇子、野瀬一吉、萩山理恵、畑野研太郎、林靖彦、林田彩花、樋口敏雄、福田順子、藤山向

日葵、船奥雄太、プラス薬局、堀江裕一、松岡敏子、松本貞雄、曲直部健朗、水口正樹、三宅享子、宮本暢二、森本武安井未沙紀、山崎弘子、山野上素充、山本常雄、山本雅哉、横山秀世、吉田恵、余田愛子、若山陽子、渡邊英治、渡邊純

【奈良県】 榎原沙代、大阪タングクラブ、小野耕作、柿本章、小玉淳一、小牟田健三郎、小牟田光子、阪峯登、笹川忠士、ニシキ醤油(株)、西崎満、増森規子、吉田啓子

【愛媛県】 渡邊研太郎

【岡山県】 青木実

【沖繩県】 姉崎隆

博愛社後援会会費

▽個人 1口 3千円
 1口 1万円
 1口 1万円

いづれも年会費で、
 期間は4月〜翌年3月
 郵便振替口座番号
 00920074676

▽口座名義
 社会福祉法人 博愛社

病児・病後児保育室「ペコラ」開設!

【博愛社こども園】

2022年度、病児・病後児保育室「ペコラ」がスタートしました。ペコラとはイタリア語でひつじを意味します。昨年度までは、病後児ホーム



『つくしんぼ』として病気回復期のお子さまをお預かりしていましたが、今年度からは機能拡大し病気やケガで体調不良のお子さまもお預かりしています。お仕事をされていなくても、すべての子育て中のご家庭にご利用いただけます。大阪市在住で生後6か月〜小学校6年生までのお子さまが対象です。ご利用の際は事前登録が必要です。

登録に来られた方からは、「こんなところがあったら有難いです。」というお声をたくさん頂いています。利用された方からも「どう

しても仕事が出来なくて本当に助かりました。」等のお声を頂き、保護者の方の就労支援の一助を担うことができることを嬉しく思います。

まだまだ続くコロナ禍のなかで、感染対策を行いながら看護師と保育士で情報共有・協力をし、お子さまが安心して過ごし、保護者の方にも安心して預けていただける病児・病後児保育室を目指していきたいと思っております。これからよろしくお願いたします。

【病児保育リーダー 落 美穂】



大阪府共同募金会より「2021年度 地域の子どもの福祉のための助成金」を頂き、次の事業に活用させて頂きました。①「自立に向けた生活応援事業」進学や就職が決まり自立していく高校3年生の生活応援サポートとして、一人当たり15万円分の家具家電等の購入や退所までに自立生活を練習するための環境の整備などを行いました。②「施設退所者への支援事業」施設退所してから3年以内の

「令和3年度 地域の子どもの福祉のための助成金」
大阪府共同募金会より助成金をいただきました
～自立をサポート～

卒業生に向け、ふるさと便と称した仕送りを2021年度から開始し、内容を充実させるために助成金を使わせて頂きました。③「地域小規模施設の環境整備補助」こどもたちにとって、より家庭的な暮

らしを地域の中で過ごすために地域小規模児童養護施設が開設し、その運営をより充実させるために環境整備をさせて頂きました。どの事業においても、運営方針である「自律した社会人になるための支援」に基づき、自立へと繋がる大切な取り組みになりました。多大なるご寄付に感謝申し上げます。【勝原 駿】

NHK 歳末たすけあい義援金に感謝
～進学するこどもたちへ～

2022年度に高校、中学、小学校に進学したこどもたちは合計22名でした。こどもたちの文具や生活用品、通学用の自転車などを購入するための費用として、今年度も大阪府共同募金会を通して、NHK 歳末助け合い義援金の分配金をいただきました。新しいものを手にした期待と喜びを感じ、新しい環境や生活に不安や緊張を抱きながらも、精一杯こどもたちは頑張っています。ご支援・ご協力賜りました皆様に感謝し、こどもたち自身が大切な存在だと感じられるように引き続き支援していきます。あり
【勝原 駿】



コロナ禍でのお別れ会は、例年通りではなく、こどもたちとなにか春らしい楽しいことは出来ないだろうかと考えたのが、いちご狩りごっこでした。本物のいちごに触れさせてあげたい気持ちもあり、どうするのがいいかを担当者で話し合いました。各クラスの担任にできそうなことを相談し、0、1歳児の低月齢のこどもたちは画用紙とラミネートで作ったいちごを壁に貼り、1、2歳児の高月齢のこどもたちは、折り紙で作ったいちごを洗濯バサミで挟み部屋の中にいちご狩りの場所を作りました。いちご狩りの後は本物のい

ちごも食べ、どのクラスも楽しむことができ、いちごも美味しそうに食べていたと報告を受けました。これからもこどもたちの今と向き合い、楽しい行事を考えていきたいと思えます。【早瀬 佳美】



いちご狩り楽しいな！



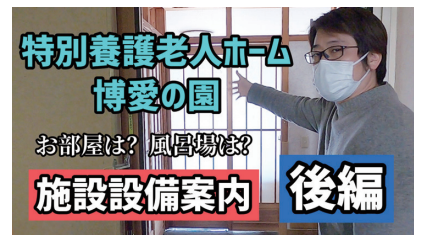
いちごをいただきます！



【特別養護老人ホーム博愛の園】

長引くコロナの影響で、入居を検討されている方に対して施設見学のご案内が出来ておりません。大切なご家族が入居されるにあたって、その施設を見る事が出来ない事に歯がゆさを感じておりました。そこで、動画を作成してどのような施設なのかご覧いただく事で、少しでも不安要素を

取り除く事ができるのではないかと思います。この度、YouTubeを始めました。職員鈴木と共に施設設備の編、後編を撮影しました。お時間がございましたら、是非ご覧ください。(博愛社のホームページから観ることが出来ます) 【坂本 康一朗】



博愛社フェスティバル 社内のみで開催

毎年10月に行う「博愛社フェスティバル」ですが、(仮称)第二博愛社の工事が始まり場所も限られているため、今年度は社内のごどもたちが楽しめる1日になるよう感染対策を取りながら「社内のみでの開催」を計画中です。ごどもたちの笑い声や楽しむ姿を想像しながら、職員で案を出し準備を進めていきます。

一九四五年八月、長い戦争

も終わり博愛社の戦後がスタートする。しかし戦後、博愛社が早急に対処しなければならなかった課題の一つが「戦災孤児」の救済であった。それ

あげて、これに取組み、五四四名の大量収容となつた」と記されている(ただ、救済した児童数は四九三名との記録もある)。

に、「大阪駅戦災児取扱科より□□引取り厚生館に託す」、五月八日にも山野井が「午前中大阪駅へ戦災児収容に行か

史料である。加えて、博愛社には戦後、彼等の生活を支えたらラ物資やCCFの史料が残されている。戦災孤児については、今後、博愛社襲蔵の中の史料調査と共に梅田厚生館の史料についても渉猟していく必要がある。また、

「梅田厚生館」に一時収容され、そこから博愛社にも送られてきた。それは四六年四月一七日より翌年三月末迄、男児三五一名、女児一九三名で、彼等は毎日のように厚生館からトラックで送り込まれたが、生活に馴染めず逃亡する児童もあり、彼等を探索するのが「職員や保母たちの日課の一つ

当時の社長は小橋カツエである。博愛社に「業務日誌」

をなやましてある。本社にて

聖贖主教会牧師の側垣基雄が当時、三光塾を立ち上げ戦災孤児たちを救済した事実も重要である。一方、博愛社の歴史において「業務日誌」の大切さを再認識させられ、職員さん達が日々の業務を記録され、それは日々、大切に保存されてきた。あらためて先人の記録保存の姿勢にも頭が下がる思いである。

博愛社の歴史探検 [36]

博愛社と戦災孤児救済

絶対量が足りなくて、目ばかりギョロギョロと、子供

が残されており、当時の様子の断片を知ることが出来る。四六年四月一七日の段には「山野井姉 戦争孤児五名男

やはり退送の跡はたえない」。心の落ち着かない彼等について「御面倒を見て下さる保母さん方の労苦は大へんだ」と

入所時の大変な様子が認められ、戦災孤児の受け入れのこ

の人相まで変えてしまう有様をみて不憫でした。(九四頁)と記されている。『春夏秋冬恩寵の風薫る』の年表にも「終戦後、街頭に氾濫していた戦災孤児、浮浪児を梅田厚生館より引受け、施設の全機能を

三女二大阪駅迄児童を迎へに行かれたり」、四月二六日に

も山野井が淀川善隣館の帰途

室田 保夫(関西学院大学名誉教授)